

平成 30 年度宮代町児童福祉審議会会議録

開催日時：平成 31 年 2 月 19 日（火）午後 2 時

開催場所：宮代町立図書館 研修室

出席者（敬称略）： 加藤一雄、戸田加代子、遠藤和幸、岡田千恵

事務局： 渡辺課長、門井室長、横内主幹、市川主査、小野主査

傍聴：申込なし

1. 開会

2. 課長挨拶

3. 議題

(1) 平成 31 年度開設予定小規模保育施設について

事務局より資料 1 をもとに説明

岡田委員：新規小規模保育施設の駐車場はどこですか。

横内主幹：建物の前に 3 台程度ありますが、3 台では不安もありますので、調整の中で月極め駐車場の確保に向けて話していきたいと考えています。

岡田委員：通勤時間帯等は道が混んでいて停めにくく、近隣の店舗を利用する場合がありますと問題ではないかと思います。また、向かいの駐車場では小さい子をつれて道路を渡るのは危険だと思います。

横内主幹：駐車場確保については引き続き調整していきたいと思っています。

遠藤委員：保育の需要が高まる中での満たす政策は素晴らしいと思います。既に運営している系列の小規模保育施設が一園ありますが、経験している保育士が新設園にも配置されるのか、運営面についても分かる情報があれば教えてほしいのですが。

横内主幹：鴻巣市でも運営しており、経験ありの保育士の内部異動は考えているそうです。運営中のカインド・ナーサリー本田園については、昨年度も指導監査に入っておりますが、今のところ大きな問題は生じておりません。引き続き適切に運営していただけるよう指導を行っていききたいと考えております。

渡辺課長：平成 29 年度開設時に保育スタッフの資料を確認しましたが、保育士は新卒ではなく他の園から移ってきた方が多く、安心したところです。今年度は小規模保育施設を 2 園公募しまして、3 社からの相談等がありましたが、確保できたのは 1 社のみでした。引き続き小規模保育施設の確

保と大規模な認可保育園の誘致も合わせて取り組んでいきたいと考えております。

岡田委員：現在、笠原小学校でPTA役員をしていますが、学区外の道佛地区から通学する児童が多く、平成31年度は90人近くの1年生が入学予定だそうです。小規模保育施設の道佛地区での建設は考えたのですか。

渡辺課長：道佛地区でのオープンについて事業者との相談もあります。

岡田委員：地区に偏りがあるので、道佛地区に1園あると便利になるので、増えると良いと思います。

渡辺課長：小規模保育施設の道佛地区での相談のほか、認可保育園を南部方面で確保できればと考えております。

遠藤委員：小規模保育施設増設後には、3歳児の保育の連続性の問題があります。

宮代町は3歳以降の定員や受入れはどのように考えていますか。

渡辺課長：認可園不足の現状がありますので、民間保育園へ0歳～2歳児をお任せして公立保育園で3歳児を多く受け入れるように調整しております。

平成33年度に認可園ができれば、状況が楽になると思います。

また、小規模保育施設から3歳児で転園する場合は入所判定指数の加点を高くしてニーズを考慮しています。

加藤会長：道佛地区の人口が増えていますが、今回は1園増設で間に合いますか。

渡辺課長：平成31年度につきましては、待機児童がでるかどうかが微妙なところですが、

平成32年度入所時には足りないもので、来年度に向けて小規模保育施設の確保と民間保育園の面積基準等可能な範囲での受入れ拡大への協力をお願いしていきたいと考えています。

岡田委員：宮代町には公立幼稚園がありませんが、公立幼稚園ができる予定や提案はしているのですか。

横内主幹：民間の事業者から幼稚園の話もでておりましたが、ニーズは長時間預けたいため保育園の方が多いため現状です。現在、町内の私立幼稚園4園には定員割れの園もあり、町としては優先的に保育園を整備したいと考えております。

幼稚園の話も受け皿にならないわけではなく、民間から話ができれば前向きに検討したいと思いますが、公立幼稚園は難しいかと思っております。

渡辺課長：民間幼稚園に余裕があるので、公立幼稚園は難しいところです。認定こども園の話がくれば積極的に取り組みたいと思います。

(2) ファミリー・サポート・センター事業について
事務局より資料2をもとに説明

岡田委員：小学校・学童のお迎え、他所への送りは当日でもお願いできるものですか。

市川主査：2週間前から3日前までに申し込んでいただいて、マッチングと言って提供会員の中から希望に添える方を探します。
急な場合は緊急サポートをご利用いただきたいと思います。

岡田委員：あらかじめ面談のようなものを行うのですか。

市川主査：子どもの様子などを伝えるため、面談の形をとっています。

岡田委員：小学校・学童のお迎え他所への送りの96件は事前に仕事などの都合でお願いされているのですか。

市川主査：塾など決まった曜日のご利用などもあります。

岡田委員：PTA役員決めの免除などあるのですが、PTA代表として活用できる実態を伝えていきたいと思います。

渡辺課長：ぜひPRしていただきたいです。会員が増えていただくと、提供会員と利用会員の両方のやりとりができるのでありがたいことです。

岡田委員：チラシはどこにあるのですか。見たことないのですが、学校で配布はしていますか。

市川主査：福祉課の子育てひろばや公共施設に置いてあり、また学童保育で保護者に配布しました。

岡田委員：頼んだ場合に基本料金と交通費でいくらになるのか目安になる具体例が載っていると良いと思います。料金が高いと想像してしまうので、利用したくても利用しづらいと思います。PTA役員選出アンケートでも役員となり活動することには協力できないなど否定的な意見が多く出されます。勤務されている保護者が多い現状なので、サポートできる内容を発信していきたいと思います。

渡辺課長：町HPの「みやしろで育てよう」のサイトからも情報を見られます。

市川主査：具体例は載せていませんが、基本料金350円/30分+交通費5km未満200円等を載せています。

岡田委員：学校で配布するのであれば、保護者が利用しやすい内容のものを載せてもらおうと思います。

加藤会長：キャンセル料はどれくらい前からかかりますか。

市川主査：ファミリー・サポートは当日、緊急サポートは前日からキャンセル料がかかることとなります。

遠藤委員：利用料に減免措置はありますか。設定されていない市町村が多いとは思

いますが、母子家庭など協力が得られないところで利用したいが利用料がネックで利用しない話を聞きますので、子育て支援の施策とするなら財政事情や平等性の問題もあると思いますが検討していただきたいと思っています。

- (3) 平成 31 年度保育所受入れ状況について
事務局より資料 3 をもとに説明
(意見、質問なし)

4. その他
特になし
5. 閉会